

組合の活動に馴れさせて青年諸君を組合の目的貫徹に甚力を借らねばならぬ。諸君は九州全体の農民を背負つて先頭に立て戦ふの責任がある、小作農民生活向上の爲一層活動せられたい。

○ 杉山元治郎

日本の農村は明治の中頃から資本主義の發達と共にお互の村が段々貧乏になつて農村問題は古からあつたが村は少しもよくならぬ。

昭和五年の不況に當り農作物値下落し貳拾億圓近くお互の間に不入らなかつたので、以來農村は單なる不景氣では闘ひ表はすことが出来ず、黙脱と言ふ言葉で以て表はすことになつた。この不景氣を打解してお互の生活を樂にする程努力するのが政治家の任務である。

五、一五事件の發生原因も働けば働く程貧乏することは政治家

の努力が足りないからで夫れに憤激したと傳へられてゐる。

齋藤内閣の六十二議會で首相は、帝都の只中で凶變の起る原因は生活不安にある、國民生活の安定を期する爲に粉骨碎心すると謂はれた、演説文では吾々は満足出来なから具体的政策を示してくれと申したのである。當時政友會は松岡洋右氏や山縣選之輔氏を壇上に送つたが農村の農の字も謂はれなかつたのである。民政黨は一人も演説に立たなかつた。政黨と内閣との役割は異ふ、閣僚が出様か、出まいが其の黨の意見を要求するところが責任である、(拍手)、(拍手)、大事件直後の議會はこんな状態であつたので、私は起つて次の議會に何か約束をせよ、百姓の生活の樂になる様な政策を立てよと要求した、丁度茨城縣のお百姓が議會に押しかけて来て何んとかして呉れとの要求もあり、別に一ヶ月後に更に臨時議會を開催することとなつた